

よりよい世界を築くために 今、協同組合が期待される理由

2025年は国連が定めた「国際協同組合年」。

協同組合のSDGsへの貢献が高く評価されました。世界中で協同組合の価値や役割について話し合い、広く知らせるための会議やイベントなど、広報活動が行われていることをご存じですか？

私たちの東都生協も協同組合です。あらためて協同組合がどのような組織で、なぜ注目されているのかをご紹介します。

2025 国際協同組合年
ロゴに込められた思い



世界の人々がよりよい世界を築くために結び付く様子を表現。赤は社会、青は経済、緑は環境を象徴的に表しています。

世界で10億人!?

世界の協同組合の団体数と組合員数は？
協同組合とは、共通する願いを持つ人々が力を合わせ、事業を通して共通の願いを実現する非営利の組織です。
世界各国の協同組合が作る国際組織、国際協同組合同盟（ICA=International Co-operative Alliance）に加盟する世界の協同組合は約300万団体、組合員は10億人を超えています。日本には4万団体以上の協同組合があり、延べ1億人以上の組合員が加入しています。

国連がプッシュ!?

2025国際協同組合年って？
(International Year of Cooperatives : IYC2025)
国連は1年を通じて、平和と安全、開発、人権／人道の問題など特定のテーマを設定し、国際社会の関心を喚起し、取り組みを促すために「国際年」を制定しています。
協同組合がさまざまな分野で**持続可能な開発目標（SDGs）に貢献していることが高く評価**され、2012年に続き、2025年が2度目の国際協同組合年となりました。**同一の国際年が2回設けられるのは異例**で、国際社会からの協同組合への期待が表れています。

アントニオ・グテーレス 国連事務総長ビデオメッセージ(要約)

「協同組合は、世界的な課題を解決するために団結することの重要性を示しています。私たちの世界が複雑な課題に直面し、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け取り組む中で、皆さまの団結した努力は不可欠です。皆さまのテーマにあるように、協同組合はよりよい世界を築きます。」



イギリスで始まったの!?

設立当初の取扱商品はたったの4つ？

世界で最初の生活協同組合は19世紀のイギリスで誕生しました。1844年、工業都市マンチェスターの北東にあるロッヂデールという町で、織物工など 28 人の労働者が「自らの手でよりよい社会を生み出そう」と「ロッヂデール公正開拓者組合」を設立。倉庫の1階に最初の店を開きます。このとき、売場に並んだのは小麦粉、バター、砂糖、オートミールの4品だけ。そんな小さな協同組合の店が経営的に初めて成功し、世界的に広がっていきました。

協同組合運営の手本となる「ロッヂデール原則」（左上参照）が生まれ、その精神は世界の協同組合原則に受け継がれています。



世界の三大聖人!?

日本の生協の父、「カガワ」ってどんな人？

1888年に神戸市で生まれた賀川豊彦(1888年～1960年)は、幼少期に両親が病死し、学生時代に大病を患った経験から「他人のために役立つこと」を自らの使命とし、人々の救済活動に携わりました。協同組合運動や農民運動、医療組合運動、共済組合運動、平和運動などにおいて先駆的役割を果たし、1951年に日本生協連の初代会長に就任。作家としても意欲的に活動し、生涯で300冊を超える著作を出版しており、ガンジー、シュバイツァーと並ぶ世界の「三大聖人」の一人と評価されたこともあります。

第5地域委員会では、5月23日に「賀川豊彦の協同組合思想と実践について学ぶ」学習会が開催されました。



公益財団法人賀川事業団 常務理事 刈谷雅夫氏が講演

組合員として賀川豊彦さんを知らないのは恥ずかしいと思い参加。良い講演を聴きました。

参加者の感想
机上の学びではない実践の人、そのような素晴らしい日本人がいたことはもっと知られてよいと思いました。

見て聞いて体験 協同組合フェスティバル

IYC2025全国実行委員会では、SDGsにつながる9つの社会的課題について、協同組合が協同組合同士、そして行政・諸団体などと共にどのように取り組んできたのか、今後の課題は何かを明らかにする連続シンポジウム・座談会を開催しています。
7月5日に東京国際フォーラムで開催された「見て聞いて体験 協同組合フェスティバル」には38団体が出展。東都生協も出展し、活動をアピールしました。



協同組合フェスティバル



もっと知りたい！ 協同組合

協同組合の種類は？

協同組合にはさまざまな種類があります。生協は「消費生活協同組合」の略で、消費者によって組織された協同組合です。他には、農業協同組合や漁業協同組合などが代表的で、最近ではワーカーズ・コープも注目を集めています。

- ・消費生活協同組合（略称：生協）
地域生協、医療福祉生協、共済生協、住宅生協、職域生協、大学生協など
- ・農業協同組合（略称：JA）
- ・漁業協同組合（略称：JF）
- ・森林組合
- ・ワーカーズ・コープ（労働者協同組合）
- ・信用協同組合、信用金庫、労働金庫
- ・事業協同組合、企業組合、中小企業団体中央会



interview

2024年7月、東都生協足立センターにオープンしたみんなの居場所「ふらっと・とーと」。
施設長の熱海 昌子さん（一般社団法人 チョイふる コミュニティマネージャー）に、生協とのつながりを通して感じていることを伺いました。

ふらっと・とーとを運営して生まれる多世代交流から、私は日々「美しい日常（＝地域共生）」を体験しています。国際協同組合年と定められた今こそ、活動の本質を社会に広めるべき時と言えるのではないのでしょうか。

私よりももっと下の世代に引き継ぐため、協同組合から派生した地域共生社会を目指して、組合員の皆さんと多様な人々が「協働」の取り組みを応援し、サポートしていただけることを願います。

2025国際協同組合年も残すところ3カ月。今なぜ、持続可能な社会の実現に協同組合が期待されているのか、みんなで考えていきたいですね。一人ひとりの願いを集めて、みんなの幸せのために大きな力を発揮する協同組合のこと、東都生協のことを、あなたの周りの人に伝えてい

協同組合の仕組みって？

協同組合は、共通の願いを持つ人々が自発的に手を結び、事業を通じて共通の願いを実現する非営利の組織です。出資金という形で自分たちで元手を出し合い、組合員となって事業を利用し、運営に関わります。

株式会社が「1株1票」と持ち株が多いほど株主の発言権が増すのに対して、協同組合では、組合員は出資金額の多少に関わらず、平等に「1人1票」の権利を持ち、民主的に運営しています。

生協の仕組み



voice MOGMOG 読者から寄せられた「生協っていいなあ〜」をご紹介します

生産者となつたり（支え合い）、組合員同士顔を合わせずとも同じ思いを共有できることです。
てってさん

おいしくて安全な野菜が届いた時、絆、信頼関係を感じます。「生産者カード」から元気をいただいたり、ほのぼのしたり、おいしいとうれしくて自然と笑顔になります。
河野 玲子さん

組合員活動で出会った方々が「困っている人のため、みんなのためにやらなきゃ！」という思いを持って活動している方が多く、支え合いの精神が根付いていることを強く感じています。
マミレさん

えていきませんか。

今からでも参加できる国際協同組合年に関する情報や、これまで開催された学習会についての報告など、詳しくはこちらをご覧ください。➡
（東都生協ホームページより2025国際協同組合年全国実行委員会 Web サイトへ）



「未来につなぐ募金」は、組合員から集まった募金を東都生協の商品に換えて、「子ども食堂」や「フードパントリー」などを行っている団体を支援するかたちを取っています。

次回の注文から、優しさのお裾分けを始めませんか。

商品の注文と一緒に支援できます

募金方法は、注文書の**特別企画欄**に【365920】と記入し、**数量欄**に口数を記入します。

1口200円です。web注文サイト「とうとねっと」、電話注文でも募金ができます。



団体名 特定非営利活動法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ

設立 1994年4月 代表者 佐光 正子さん 活動拠点 世田谷区
活動内容 子ども食堂、多世代食堂、地域サロン、困窮者支援、DV相談・支援、研修、居宅介護支援
メンバー 27人 非常勤スタッフ 2人 ボランティア約10人
ボランティアの受け入れ あり
広報ツール ホームページ (<https://npo-wave.org/>)、Instagram、X



学生ボランティアが折り紙であじさいを折ってあげていました

多世代交流も地域の居場所ならではの

パンデミックのためお弁当の提供（フードパントリー）に変更しながらも、つながりを絶やさないように活動を継続してきました。学生ボランティアからシニアの男性まで、ボランティアスタッフの顔ぶれもいろいろ。米をはじめ、あらゆるものが高騰する中で、1開催約50食を15,000円以内に収めるために、スタッフが手分けして近所のスーパーを駆け回って材料を調達。東都生協「未来につなぐ募金」の助成金は、クリスマススペシャルメニューで活用する予定とのことです。

column

子ども食堂とは？

地域のオアシスを目指して

～コロナ禍だからこそ始めた子ども食堂～

助成団体紹介
Vol. 28

弦巻区民センター（世田谷区）にて月2回開催の子ども食堂ウェーブを訪ねました。

午後5時には、次々にお弁当箱やタッパーを持った参加者がやってきます。お弁当が詰め終えるまで、保育園帰りのお子さんたちは、スタッフが準備したスケッチブックや折り紙などで、お絵描きや工作をしながら楽しくおしゃべり。会場で食事を済ませていくお子さんもいます。

30年前、精神障害者の食事を提供する居場所づくりを3人で始め、代表の佐光さん自身も課題を抱える当事者でありながら、支援活動に携わっています。地域のつながりを通してさまざまな問題に対応する中で、食は全ての課題に通じると確信し、2020年子ども食堂をスタート。



当日のスタッフ一同

生活に困窮している家庭の子どもが一人でも行くことができる無料または低額の食堂として始められました。今は食事提供だけでなく、孤食の解消や地域交流の場としても機能しています。地域ボランティアが運営し、子どもから高齢者まで集う地域の居場所になっています。

2012年、東京都大田区の八百屋の店主・近藤博子さんが、店の一角で始めた「だんだんワンコインこども食堂」が発祥とされ、その後豊島区の団体の活動がテレビで紹介され、全国に広がりました。